



サンルダムの周辺整備の 進捗状況と準備は

町長 今年度は、ダム湖の名称の募集を進める

大西 功 議員

水難事故への対策は

質問 サンルダムが来年完成するが、周辺整備について、どのような準備が進められているのか。

町長 現在までの進捗状況は、既に象の鼻展望台の再整備等を実施した。今後は、サンルダム周辺整備計画に基づき、サンルダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化、流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的とした水源地域活性化行動計画「水源地域ビジョン」を策定する。これに基づきサンルダム周辺の利活用を含めた整備等を実施していく。

今年度は、新たにできるダム湖の名称の募集を北海道開発局と連携して進めていく。

再質問

今後、カヌーや水上スキー、ボートなどで楽しむ方が出てくると予想される。

万一、水難事故が起きた場合の対処について、通報で消防が救助に向かうことになると思うが、陸上の事故とは違い水上の事故は新しい訓練が必要となると思うが、水難事故の人命救助の対策として、どのような指示を出しているのか。

環境未来都市推進課長

水難救助に関しては、消防が主体的に対応することになると思うが、消防においては、2年前から計画的に船舶免許を職員に取得させており、現在2名の署員が取得済みである。最終的には4名の取得を予定している。

また、これは計画だが、平成31年度に船外機付きのボートの購入を予算計

上したいと考えている。

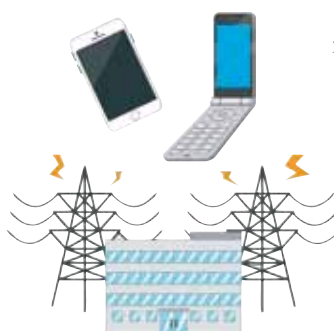
水難事故が発生した場合は、北海道警察の水難救助隊と連携をして救助をしていく考えがある。

また、旭川市消防本部の救助隊も水難に対応している。

再質問

北海道警察の水難救助隊または消防本部の水難救助隊からサンルダムへ駆けつけけるのどのぐらい時間がかかるのか。地元で一番近い消防が中心となった救助が必要になると考えるが、31年にエンジン付きの救命ボートを予算計上するとの話だが、それでは遅すぎるのではないか。今年には既にダムに水を溜める計画であり、まだ完成してないからと考えるのではなく、例えばだが水が溜まればカヌーに乗りたいたと考える人も出てくる可能性もある。そういう

ことを考慮し急ぐべきだと考える。



ダム周辺の 携帯電話の電波は

質問 事故が起きた場合は消防に通報するが、携帯電話の電波は届いているのか。町は調査したか。

総務課長 調査という正式なものはない。

再質問 圏外であるならば整備が必要になると思うが、その場合は、町、ダム事務所、携帯電話会社との協議が必要だと考えるが十分調査し、早い時期に準備をしていたきたい。